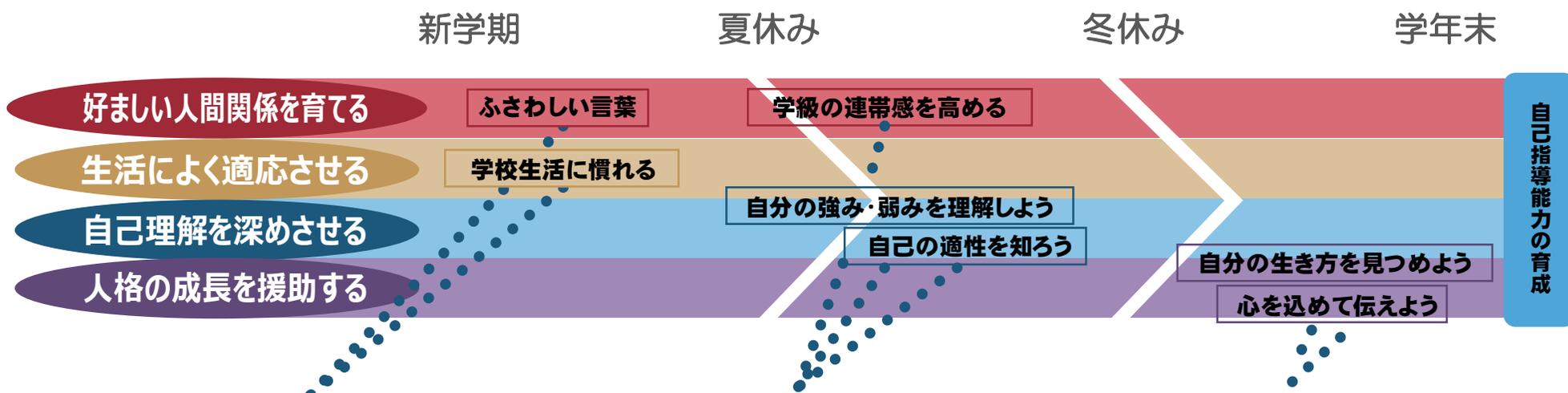


### 3 指導計画例 中学校



#### 新学期に

新学期は、新しい仲間や先生と出会い、好ましい人間関係を育てる期間です。相手の立場を理解しながら互いを大切にすることができるよう指導します。

また、学校種や学年が変わったり、新しい集団となったりすることによって、今までとは違った役割や立場が期待されます。新しい一年を充実させるため、生活によく適応させることが必要になる時期です。ガイダンスの機能を充実させるなどして、学校生活の変化に自発的に適応させることが大切です。

#### 夏季休業の前後に

夏季休業前後は、職場体験活動で仕事を体験したり、3年生は部活動を引退し卒業後の進路を決定したりする時期です。将来の夢や職業を思い描いたり、今後の学校生活に対する目標を立てたりする際には、自己の個性や自分自身に関わる状況を把握させるなど、自己理解を深めさせることが大切です。

また、クラスの間関係が固定化する夏季休業の時期に、意図的に生徒同士が触れ合う機会を設定し、友達の新たな面を発見するなどして、好ましい人間関係を築いていくことが大切です。

#### 学年末に向けて

学年末は、3年生にとっても1、2年生にとっても、高等学校への進学や上級学年への進級の節目として自分の成長を振り返らせ、生き方を考えさせる重要な時期であり、生徒の人格の成長を援助する機会となります。他の人たちから学ぶ態度を積極的に認め合い、これからの自分の人生について考えを深めさせ、個の成長を援助していくことが大切です。

好ましい人間関係を育てる

# ふさわしい言葉（4月）

キーワード： コミュニケーション 人間関係 言語活動の充実

集団活動を通して、人間的な触れ合いや互いの大切さを体験し、相手を思いやる気持ちや互いを大切にすることが育つように指導します。

国語科や特別活動において、場面や立場に応じた言葉の使い方について理解を深め、敬語に関心を持つとともに、総合的な学習の時間において、場や相手に応じた適切な人間関係を築こうとする態度を養います。

コミュニケーションの基盤となる言語の学習の際、好ましい人間関係を築くために役立つことや具体的なその使用場面を想起させることが大切です。

対象	第3学年	教育課程上の位置付け	国語科 特別活動 総合的な学習の時間
指導者	学級担任、教科担任		
時期	○活動の概要		□指導のポイント
4月	<b>学級会で「言葉」の役割について話し合う</b> ○学級内の好ましい人間関係を築くために、「言葉」の役割について考え、話し合う。 <b>国語の授業で「言葉」の力について考える</b> ○心に残る一言、うれしかった言葉などから、「言葉」のもつ力について考える。 ○自分の考えを発表する。		□人と接する時にどのような言葉を使うと円滑にコミュニケーションを図ることができるか考えるよう指導する。
	<b>場にふさわしい言葉を考える【国語科】</b>		
5月	○敬語の種類や役割について考える。 ○相手や場に応じた敬語について考える。 ○場面（「職員室」「友達の家」等）と役割（「先生」「母親」等）を設定するカードを作成し、その場面や役割に応じた会話をグループで考える。 ○他のグループが作成したカードと交換し、その場面や役割でロールプレイングを行う。		□場の状況や相手の様子に応じて話すための表現について自分の生活と関連付けて考えさせる。 □敬語を使うことで、相手がどのように感じるのかについて考えさせ、敬語が好ましい人間関係を築いたり深めたりするために役立つことを理解させる。 □他のグループと交流することで、新たな考え方に気付かせ、自分の考えが深まるよう指導する。
	<b>総合的な学習の時間でコミュニケーションのとり方などを身に付ける</b> ○職場体験学習の事前学習において、自分が訪問する職種について調べたり、仕事をする上でどのような力が必要かを話し合ったりする。 ○地域で働く人たちと自分たちとのつながりについて考える。 ○職場体験学習において、適切な人間関係を築くための言動について考える。		□職場体験学習につながりを持たせ、継続的に学習を行うことで、自己の成長を実感できるような場面を工夫し、学習意欲の向上を図る。 □国語科等で学習した表現を活用できるよう既習事項を想起させる。 □教育活動全体を通じて、言語活動の充実を図る。

生活によく適応させる

# 学校生活に慣れる（4月）

**キーワード： 多面的・多角的 課題解決**

中学校に進学すると環境が大きく変わるため、生活によく適応させることが必要になります。ガイダンスの機能を充実させるなどして、学校生活の変化に自発的に適応させることが大切です。

学級活動や道徳の時間等において、生徒が自分にふさわしい勉強方法を見いだす活動を通して、自分の生活を見直すとともに、明確な目標や計画を定め、新しい学校生活への適応を促します。

対象	第1学年	教育課程上の位置付け	特別活動 道徳の時間 各教科等
指導者	学級担任、全教職員		
時期	○活動の概要		□指導のポイント
2月	<p><b>体験入学でイメージをつかむ</b></p> <p>○1日体験入学においてガイダンスや体験授業を受け、中学校における学習のイメージをもつ。</p>	<p>□小学校との違いがどのようなものかが理解できるよう活動を絞り、丁寧な指導となるよう配慮する。</p>	
4月	<p><b>道徳の時間で話し合いをする</b></p> <p>○「目標を目指しやり抜く強い意志を」（私たちの道徳）を読み、目標をもつことの大切さについて話し合う。</p>	<p>□個々にあった目標となるように、主体的に取り組めるよう自主的に目標を設定させるとともに、自分の課題についても考えさせる。</p>	
<p><b>自分にふさわしい勉強方法を考えよう【特別活動】</b></p>			
<p>○4人グループに分かれて、各グループに1人ずつ3年生が入る。</p> <p>○3年生から、予習・復習の進め方や授業の受け方、家庭学習の仕方等について説明を受ける。</p> <p>○先輩に質問したり、互いの考えをグループで交流したりするなどして、自分の学習の進め方について考える。</p>		<p>□グループが打ち解けられるよう、簡単な自己紹介ゲームなどを行い、一人一人の多様性を認めるような雰囲気づくりを心掛ける。</p> <p>□3年生には、具体的な説明のための準備をさせ、工夫した発表をするよう事前に確認しておく。</p> <p>□目標設定のために、ブレインストーミングなどの方法で互いの意見を交流させる。</p>	
<p><b>各教科等で目標を明確化する</b></p> <p>○各教科の学習の進め方について、教科担当からアドバイスをもらいながら、各教科における各自の目標を明確にする。</p> <p><b>教育相談で話をする</b></p> <p>○学習面や生活面での不安や悩みを相談する場を設定し、学校生活をスムーズに始められるようにする。</p> <p><b>生徒会活動で自主的に活動する</b></p> <p>○学習委員が中心となり、家庭学習点検や忘れ物点検などを行う。</p>		<p>□生徒を<b>多面的・多角的</b>に理解するために、担任を中心とした教科担当等との連携体制を構築する。</p> <p>□協同学習を取り入れ、生徒が話し合う機会を数多く設定するなど<b>課題解決</b>に向けた取組を工夫する。</p> <p>□まずは、受容と傾聴の姿勢で生徒の思いや考え、悩みなどを聴くようにする。</p> <p>□教職員間での情報共有に努める。</p> <p>□学年や学校全体で学習に向かう雰囲気生まれるよう支援する。</p>	

自己理解を深めさせる

# 自分の強み・弱みを理解しよう（6月）

キーワード： 自己理解 自己肯定感 進路意識

中学校3年生の夏季休業の前後は、部活動を引退し、新たな目標づくりが大切となる時期です。この時期の特別活動等において、進路の決定に向けて、エゴグラムを用いた自己分析学習を通して、自分の強みや弱みを知り、自ら進路に関わる悩みや不安を解決する糸口を発見させるとともに、事後の活動において、教育相談の機能を生かし、進路選択の明確化と進路実現に向けて自主的・実践的に取り組む態度を育てることが重要です。

対象	第3学年	教育課程上の位置付け	特別活動
指導者	学級担任、全教職員		
時期	○活動の概要		□指導のポイント
4月	<p><b>学級活動でアンケートをとり、事前に面談をする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○進路希望や進路に対する考え方だけでなく、現在の生活・学習面の状況や、自己実現や進路実現に向けて改善が必要な課題など、自分自身に関する状況を把握するため、進路希望アンケートに回答する。</li> <li>○事前の面談を行い、学級担任等と、進路希望アンケートに書いた内容や悩み、不安等について話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□保護者の意見等も記入する項目を設けるなどして、自分自身に関する状況を的確に把握させるよう工夫する。</li> <li>□進路希望アンケートを基に面談を行い、適性・興味・関心、現在の意欲及び目標などを多面的・多角的に理解し面談する。</li> </ul>	
6月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p><b>エゴグラム（交流分析に基づく性格診断テスト）を実施する【特別活動】</b></p> </div> <p><b>エゴグラムの実施手順</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習の進め方と意義について理解を深めるため、エゴグラムを用いた自己分析学習の概要について説明を聞く。</li> <li>2 学級担任の質問に対し、ワークシートに回答を記入して自己分析を行い、結果について自己評価し、他者と交流する。</li> <li>3 分析結果から見える自己の現状と課題等についてまとめる。また、自己実現や進路実現に向けた課題について客観的に理解し、解決のために必要なことを考える。</li> </ol>		
8月	<p><b>学級活動、課外活動で結果を見直す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事後の面談において、自分自身の強み・弱みについて確認し、自己実現や進路実現のためにどんな課題を解決すればよいか、学級担任等に相談する。</li> <li>○数か月後に再度エゴグラムを実施して、前回の分析結果と比較し、自分の強みの伸長や弱みの克服を確認するとともに、生活・学習面における課題の改善状況を認識し、進路実現に向けて具体的にすべきことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□進路活動を控えたこの時期に行う意義について、自己実現や進路実現の観点から明確に理解させ、学習に対する主体的な参加を促す。</li> <li>□グループで交流し、自己に対する主観的な理解と他者が見取った客観的な評価との違いを比較したり、関連付けたりするなどして、<b>自己理解</b>を深めさせる。</li> <li>□教育相談の機能を生かし、生徒のよさを認め、<b>自己肯定感</b>を高めるとともに、<b>進路意識</b>を高め自己実現に向けて改善すべき課題と解決策について生徒自身に考えさせ、保護者にも理解を促す。</li> </ul>	

好ましい人間関係を育てる

# 学級の連帯感を高める（8月）

キーワード： 他者理解 所属意識 リーダーとしての自覚

生徒同士で協力する意識を育むことで、学級への所属感や連帯感を高めるとともに、好ましい人間関係を築こうとする態度を養い、自主的・実践的に取り組む学級風土を醸成します。

学校での基礎的な生活の場である学級を基盤として行われる活動を通して、集団の一員として役割と責任を果たし、互いに尊重し、よさを認め発揮し合えるような学級づくりをしていくことで、開かれた人間関係を育成します。

対象	全学年	教育課程上の位置付け	特別活動 各教科等
指導者	学級担任		
時期	○活動の概要	□指導のポイント	
7月	<p><b>学級でグループ協議する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションにおける言葉の大切さを学ぶため、アサーショントレーニングに取り組む。</li> </ul> <p><b>学年でコミュニケーションを図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期休業を利用して希望者はピア・サポート研修会を受講する。</li> <li>○コミュニケーションの図り方をロールプレイングで体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□普段使っている言葉で、周囲の人がどのような気持ちになるのかを実感させる。</li> <li>□自分のよさや足りないところを一人一人に考えさせるようにする。</li> <li>□生徒の主体的な活動となるようにきめ細やかに観察をし、生徒の状況を把握する。</li> <li>□生徒一人一人がリーダーとしての自覚を深められるよう丁寧な指導を心掛ける。</li> </ul>	
8月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p><b>クラス会議を実施する【特別活動】</b></p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○班ごとにアイスブレイクを行い、学級の課題に対してグループ協議を行う。</li> <li>○学級の課題やクラスメイトの悩みの解決策を学級全体で話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□互いの顔が見えるように輪になるなど、温かな雰囲気づくりを心掛ける。</li> <li>□各班の活動を観察し、状況に応じてリーダーに声を掛ける。特に支援の必要な班については、リーダーに自信をもたせるような内容にする。</li> </ul>	
	<p>《活動例》いいところ探し（アイスブレイク）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 4人グループになり、各自の「いいところカード」を他のグループに渡す。</li> <li>② グループで、他の子の「いいところカード」に、思いつくいいところを書き込む。</li> <li>③ 教室に掲示して、みんなで共有する。</li> </ol>	<p>《課題設定例》みんなで話し合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ クラスとして、学校行事に向けての意識は統一されているか？</li> <li>◇ 一人一人にとって居心地のよいクラスになっているか？</li> <li>◇ 自分の進路目標について</li> </ul>	
8月	<p><b>日々の授業で意見交流する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の意見を尊重しながらそれぞれの授業の中で、積極的な意見交換を行う。</li> </ul> <p><b>学級で勉強を教え合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仲間の考えのよさに気付きながら、校内学力コンクールに向けて勉強を教え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□発問の意図から外れている発言であっても、肯定的に捉えられるようなやり取りを行い、所属意識を高められるようにする。</li> <li>□互いの意見を取り入れ、個々の理解が深まるような発問を心掛ける。</li> </ul>	

自己理解を深めさせる

# 自己の適性を知ろう (10月)

キーワード： キャリア発達 人間関係

総合的な学習の時間や特別活動等において、地域との交流を位置付けた教育活動を通し、様々な年齢、立場の人と関わったり、実際に職業を経験したりすることで、自己についての多様な気付きや発見につながり、自己の適性について理解を深めます。

「職場体験活動」を通し、様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考えるとともに、自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高めることで、自己理解が深まるようにすることが大切です。

対象	第3学年	教育課程上の位置付け	特別活動 技術・家庭科 社会科 総合的な学習の時間
指導者	学級担任、教科担任		
時期	○活動の概要		□指導のポイント
9月	<p><b>社会（公民的分野）の授業で現代社会の諸問題、見方や考え方を学ぶ</b></p> <p>○「私たちと現代社会」において、現代社会の諸問題について調べたり、現代社会の見方や考え方についてワークショップを通して考える。</p> <p><b>総合的な学習の時間において調べ学習を行う</b></p> <p>○インターネット等で訪問先の職種や職場について調べ、自分の興味のある内容をまとめることで、当日の質問内容を明確にする。</p> <p>○職業に関する調べ学習や職場体験学習のねらいを踏まえ、自己の適性や課題を模索し、自己の強みや弱み等を考える。</p>		<p>□社会の諸問題等を理解させ、社会の一員として自覚を深めることができるよう、<b>キャリア発達</b>を促す工夫をする。</p> <p>□将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高めるよう、適切な声掛けをする。</p>
10月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>職場体験活動を実施する【特別活動】</b> </div>		
	<p><b>取材活動と発表</b></p> <p>1 事前に考えてきた質問事項等に基づき、訪問先の職場の人に取材する。</p> <p>2 大人の意見を参考にしながら、体験した職業と自己の適性を照らし合わせるとともに、体験を通して感じたことを発表する。</p>		<p>□生徒と事業所とで事前に情報を共有し、雰囲気や和らげる。</p> <p>□世代の違う人と接することで、コミュニケーション力を育成し<b>人間関係</b>を深める。</p> <p>□日誌の記入を通して、自己の表現力を高めさせるとともに、自己有用感を高め、達成感をもてるよう工夫する。</p>
	<p><b>技術・家庭科の授業で情報機器を活用し、体験をまとめる</b></p> <p>○プレゼンテーションソフトを活用し、職場体験学習で学んだことや感じたことをまとめる。</p> <p><b>総合的な学習の時間で発表する</b></p> <p>○職場体験発表会において、職場体験実習の成果を発表する。</p>		<p>□自己表現力を高めるとともに、生徒間での体験の共有化により、進路意識をさらに高め、自己の適性を理解し、自分の将来の姿を思い描くきっかけとなるように工夫する。</p>

人格の成長を援助する

# 自分の生き方を見つめよう（1月）

**キーワード： 進路意識 自己理解**

外国語科や道徳の時間、総合的な学習の時間等において、職業や生き方について考える学習を通して、これまでの自分の様子を振り返り、第2学年の残りの生活や第3学年に向けて、自分の生き方や人生について考える活動を充実させることで、自分を知り、他に学ぶ重要な機会とし、人格の成長への援助を図ります。  
他の人の人生や考え方と、自分の人生を照らし合わせることで、生き方について広く深く考えるよう促すことが大切です。

対象	第2学年	教育課程上の位置付け	外国語科 道徳の時間 総合的な学習の時間
指導者	教科担任、学級担任		
時期	○活動の概要		□指導のポイント
1月	<p><b>総合的な学習の時間で職業や自己の将来に関する学習を行う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の将来に関する職業の調べ学習や講演会を行う。</li> <li>○職場体験活動を行う。</li> <li>○職場体験活動を通して、分かったことや今後の自分の生き方、勤労の意義について、自分の考えをまとめる。</li> <li>○職場体験発表会で発表、交流する。</li> <li>○一連の活動を振り返り、次の課題を設定する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>□講演会では、複数の外部講師を招聘し、興味・関心に応じた人の話を聞くよう生徒が選択し、<b>進路意識</b>の向上を図る。</li> <li>□職業や体験の紹介に偏らないよう、自己の考えについてもまとめ、<b>自己理解</b>を促す。</li> <li>□次の単元「地域づくり提案」へ向けて、これまでの学習の成果を振り返り、新しい課題を考えるよう促す。</li> </ul>
	<p><b>他の人の生き方について学ぶことを通して、私のモットーを考える【外国語科】</b></p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○信念をもって生きた人の物語（目の不自由なテノール歌手である新垣勉さんの物語「Try to Be the Only One」）を読む。</li> <li>○物語を読んで、彼の考え方やモットーについて理解する。</li> <li>○自分の今後の生き方や人生に対する考えをワークシートにまとめる。</li> <li>○ワークシートの内容を基に、英語で互いの考えをグループで交流する。</li> <li>○「私のモットー」を英語でまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>★My Motto★ <b><i>Be positive!</i></b> Reason: I want to live without any regrets, so I will...</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめとして、これからも、機会ある毎に主体的に自己の進路や生き方について考えるよう語り掛ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>□書かれた内容に対して感想を述べたり、賛否やその理由を示したりすることなどができるよう、読解のポイントを示す。</li> <li>□自分の考えが読み手に正しく伝わるように、文と文とのつながりなどに注意して文章を書くよう指導する。</li> <li>□交流を通して、他者の考えを認め、自分自身の生き方を見つめ直すなど、<b>自己理解</b>を深めるよう促す。</li> <li>□端的なフレーズと、それを選んだ理由等をシートに書くことを伝える。</li> <li>□機会ある毎に自己の進路や人生について主体的に考え、<b>進路意識</b>を促すよう語る。ワークシートは、回収後、廊下に掲示する。</li> </ul>
2月	<p><b>道徳の時間で考えを深める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分を見つめ個性を伸ばす」（「私たちの道徳」）を資料にして、自分らしさについて考える。</li> </ul> <p><b>面接（教育相談）週間で現在の考えを伝える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今後の自分の生き方や人生について、現在考えていることを自分の言葉で伝える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>□充実した人間としての生き方について考える過程で、自分のよさや個性を発揮する生き方に触れ、<b>自己理解</b>や<b>進路意識</b>を促す。</li> <li>□学校生活や進路について話を聞く際には、直近の生活はもとより、将来を見据えた視点をもつよう<b>進路意識</b>を促す。</li> </ul>

人格の成長を援助する

心を込めて伝えよう（3月）

キーワード： 他者理解 自己理解

学年末は、1年間を振り返り、さらに自己を一層伸長させようとする意欲が高まる時期です。特別活動や道徳の時間において、自他の成長を確認したり、将来の自分について見つめたりする活動を通して、人格の成長への援助を図ることができます。これまで自分を支えてくれた人たちへ感謝の気持ちをもちながら、1年間の活動を振り返り、自分の成長を見つめることができるよう支援することが大切です。

対象	第2学年	教育課程上の位置付け	特別活動 道徳の時間
指導者	学級担任		
時期	○活動の概要		□指導のポイント
2月	<p><b>特別活動で送別のテーマを決定する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○代表委員会で、卒業生への感謝や祝福の気持ちを表す「送別のテーマ」を決定し、そのテーマに沿った装飾物の作成や集会の取組を考える。</li> <li>○各委員会で卒業式を迎えるにあたっての事前の準備を行う。</li> </ul> <p><b>学級活動でありがとうメッセージを作成する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「送別のテーマ」に沿った装飾物や「ありがとうメッセージ」カードを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□一人一人が活動に込められた思いや意味を理解できるよう指導する。</li> <li>□一つの節目を迎えるに当たり、これまでの学校生活の中での活動等を振り返らせながら、自分たちの歩みを確認させるようにする。</li> <li>□3年生への感謝の思いを考えさせながら、活動させる。</li> </ul>	
3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>卒業生に心を込めて「ありがとう」を伝える【特別活動】</b> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卒業生に対し「ありがとうメッセージ」を発表する。</li> <li>○メッセージを受けた感想や卒業するに当たっての後輩への思いを、卒業生から受け取る。</li> <li>○発表後、「ありがとう」メッセージを廊下に掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□他者理解を深めさせるため、卒業を迎えた3年生の気持ちを想像しながら発表をさせる。</li> <li>□卒業生の姿から、来年の自分の姿を想像し、上級生へと成長していくことを実感させる。</li> </ul>	
	<p><b>道徳の時間で自分の生き方について考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「山中伸弥さんのメッセージ」（「私たちの道徳」）を読み、個性を伸ばしながら充実した生き方を追求することについて話し合う。</li> </ul> <p><b>特別活動で1年後の自分について考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○卒業生から得た思いと、1年後の「卒業する自分」をテーマに作文を書き、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□自分の中にある「良いところ」「改めたいところ」を考えさせ、より改善していこうとする態度を育成する。</li> <li>□卒業に向けての進路選択とその後の自分の生き方について考えさせ、卒業を迎える自分の姿、さらには自分の将来像をイメージさせる。</li> <li>□将来の夢や目標を明確にすることにより自己理解を深めさせる。</li> <li>□多様な価値にふれることにより、自己の生き方についての考えを深めさせる。</li> </ul>	